



↑沖縄ではマックやケンタッキーよりもA&Wの歴史が長い。ルートビア、カーリーフライとハンバーガーのセットを、お年寄りがペロリと平らげる光景が見られるのが沖縄だ。



◀なんといっても県民のビールはオリオン。じわっと暑い沖縄の空気の中で飲むと、爽快感がたまりません！

▶沖縄で「そば」といえば、それは沖縄そば。カップ麺も当然「沖縄そば」だ。「カツオとソーキ味」とあるが、「ソーキ」は豚のスベアリップのことで、沖縄そばに載せる定番の具材だ。



↑食堂などでは、赤と黄色に塗り分けられたこの箸が定番。「んめーし」という。

◀沖縄で採れる小さな唐辛子(島唐辛子)を泡盛に漬けたもので、「コーレーグス」という。沖縄そばや、刺身のしょうゆにひとたらし。ぴりりと辛い。

▶「県内のステーキ屋さんのテーブルに必ずある」と断言できそうなA1ソース。それほど県民に愛用されている、肉料理用のソースだ。

↓日本に輸入されるポークランチョンミートの、じつに9割が沖縄で消費されている。県内では「ポーク」と呼ばれ、炒め物から汁もの、サンドイッチなど、なんにでも使われる。デンマークのTULIPとアメリカのSPAMが二大人気ブランド。完全に食生活に定着したアメリカ時代の名残。

Okinawa Limited

たくさんあるあるある！

沖縄を旅していると、どこか日本ではないような異国情緒を感じる人も多いのでは？南国特有の気候風土だけでなく、琉球王国として独自の文化を育んできた歴史や、戦後の27年間、アメリカ統治下にあった時間も影響しているのかもしれない。そんな沖縄で愛されている「ご当地モノ」、いろいろあります。



▶Hard X Spark!!とあるが、微炭酸で飲みやすい。沖縄限定コーラは県内の自販機で450ml入りのペットボトルが110円、安い！沖縄ボトラーズ製。

↓沖縄では緑茶やほうじ茶よりもサンピン茶。中国語の香片茶(シャオペン)がサンピンに変わったのだから。ジャスミンの香りがさわやか。



↓玄米といってもごはんではない。玄米と黒糖、ショウガで作るドロリとした不思議なドリンク。お試しあれ！



↑赤の鮮やかさに驚くが、これが沖縄のかまぼこだ。板はない。かまぼこは沖縄の行事の際に作る重箱料理に欠かせない素材。ぎっちり重箱に収まるよう、幅は75ミリ。

▶オキハムの琉球料理レトルトパック。故郷を離れた子どもに送る親も多い。中味汁は、丁寧に下ごしらえした豚の内臓が入ったすまし汁。沖縄では山羊汁もポピュラーだ。



↑首里のぎばまんじゅうが元祖といわれる「の一まんじゅう」。「の」は「のし」の意味とか。買うと「の」を書いてくれる。あんが入った中華まん風だ。



↑「ワシミルク」と呼ばれ親しまれているコンデンスミルク。こういう缶詰が、小さな離島の共同店の棚に並んでいるのが、沖縄の面白いところ。



あなたの暮らしにもっとワクワクを♪

琉球新報 Style

「琉球新報 Style」は沖縄の毎日をちょっと楽しく新しくするWebマガジン。読者のニーズに応える情報やニュースを編集部がセレクトします。輝く人に会いに行くインタビューや動画企画、「女性自身」とのコラボ企画、「週刊レキオ」や「週刊かふう」の人気コーナーなど話題が盛りだくさん。日々の暮らしにワクワクの種をまく、そんなサイトに育て中です！

今すぐアクセス！



琉球新報 Style 検索



ryukyushimpo.jp/style/



沖縄美人 ウーマンリアル

ポジティブに、しなやかに生きる沖縄の美しい女性たちの素顔をご紹介します。



木曜のまげひらNEWSでGO!

お疲れ気味の木曜日に「沖縄ナンバーワンちゃんまげ系アーティスト」こと、まげひらさんが気になるニュースをピックアップ！

DEAR WOMAN

家事、育児、仕事と働く女性の悩みはつきません。道を切り開いてきた先輩たちから、悩める後輩へのメッセージを紹介します。

キラリ☆ヒューマン

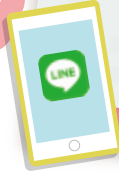
伸びやかに自分らしく生きている人ってすてきです。困難を乗り越えて夢に向かって進む、さまざまなジャンルでキラリと光る人へのインタビュー企画。

LINE 沖縄の「今」をLINEで!

琉球新報はスマートフォンなどで使える無料通信アプリLINEでニュースを配信しています。LINEで琉球新報を「友だち追加」するだけで毎日正午過ぎに沖縄の最新ニュースや楽しい話題など、よりすぐりの8本が無料で読めます。

スマートフォンやタブレットでLINEのアプリをインストール。

アプリを開いて琉球新報を「友だち追加」して登録します。



りゅうちゃん LINEスタンプ販売中★



登録してね♪